

国保連合会 News!!

国保くまもと Vol. 250 (2022年1月号)

◆10/8 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る研修会

KDB システムデータを基に

介護に至った事例から予防活動を考える

標記研修会を水前寺共済会館グレーシアにて開催し、熊本県、県内市町村及び後期高齢者医療広域連合の担当者 90 人の参加がありました。

講師には、元国保中央会常勤参与で、2画面審査システムと KDB システムの開発に携わり、現在は、医療法人洗心会倉永病院病院長の矢野周作氏をお迎えし、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業における KDB システムの有用性を知り分析手法を学ぶとともに、分析データや介護に至った事例から、予防活動のターゲット層を明確にできることを目的として開催しました。

まず、本会保健師が、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が開始となつた背景やその目的について法律を基に説明し、その後 KDB システムにて作成される帳票「地域の全体像の把握」から県全体と同規模県を比較した資料を基に、生活習慣・健診・医療・介護の流れで熊本県のデータ読み取りを行いました。

続いて、矢野氏が「KDB システムデータを基に介護に至った事例から予防活動を考える」というテーマで、熊本県での入院受療率が高い脳血管疾患、認知症及び骨折で、介護認定された事例を基に、介護に至った経緯や、予防による介入時期はいつだったのかという視点で経過を振り返りながら解説されました。その中で、青壮年期からの生活習慣病の発症予防や治療のコントロール状況が重症化予防や介護予防には重要であることを説明されました。

参加者からは、「短期間の国保加入であっても、生活習慣病の予防が介護予防につながることを事例を通して再認識できた」、「KDB からの情報のみで医療・介護評価表が作成できることであったため、早速作成し、保健予防活動に活かしていきたい」等多くの意見が寄せられました。



◆令和3年度介護サービス事業者支援研修会

動画セミナーを活用した研修会

介護保険課では、県内の介護サービス事業所等を対象に、介護サービスの質の向上を目的とした研修会を行っています。今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「株式会社安全な介護」による動画セミナーとし、昨年度の433事業所を大幅に超える701事業所（約8,200人視聴見込み）から視聴申し込みがありました。

動画の内容は、【トラブル事例から学ぶ管理者・相談員の事故対応】、【介護職員のための大切なルール】等の4テーマで、9月1日から11月30日までの3か月の視聴期間を設けました。

延べ視聴回数は13,000回を超え、アンケートでは「様々な事例とその問題点や改善点、対応策が挙げられており、分かりやすく参考になった」、「自身の普段のケアや声かけを振り返ったり、考え直すきっかけになった」、「コロナ禍で外部研修参加が難しいため、今回の動画セミナーはとてもありがたく良い機会になった」等、好評を得ました。

◆10/23 第25回熊本県国保地域医療学会

withコロナ時代の地域包括医療・ケアの推進に向けて ～初のオンライン開催～

第25回熊本県国保地域医療学会は、熊本県国民健康保険診療施設協議会・熊本県市町村保健師協議会・熊本県国民健康保険団体連合会の主催のもと、初のオンラインにて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で延期されたため、2年ぶりの開催となりました。

今学会のメインテーマは「withコロナ時代の地域医療」。

熊本県内の国民健康保険関係者、国民健康保険診療施設の医療従事者、保健・介護・福祉事業関係者222人の参加申し込みがありました。

開会にあたり甲斐豊学会長の開会のことばに続き、志垣信行熊本県国民健康保険診療施設協議会長が主催者挨拶を述べました。

その後、早田章子熊本県健康福祉部長から来賓祝辞が寄せられました。

開会式に引き続き、第24回学会での優秀研究表彰者の紹介が行われ、受賞者を代表して最優秀賞の上天草市立上天草総合病院の和田正文氏が受賞の弁を述べられました。

学会プログラムの研究発表では、今回から新たに「新型コロナ感染症」に関するものの演題も含め、多岐にわたる発表となりました。

また、小川久雄国立大学法人熊本大学学長の特別講演「循環器治療の実態と対策」では、循環器治療の最前線の貴重な話を聞くことができました。

研究発表では、座長、審査員による書面審査が行われ、次頁のとおり最優秀者、優秀者が決定されました。

第24回及び第25回最優秀者は、令和4年9月16日（金）、17日（土）に千葉県で開催予定の第62回全国国保地域医療学会で発表する予定です。

研究発表優秀者

		所属・氏名・演題内容
最優秀者		国保水俣市立総合医療センター 診療放射線技師 山澤順一 氏 水俣市久木野地区における「くまもとメディカルネットワーク」と遠隔医療対応電子聴診器を併用したオンライン診療の取り組み
優秀者		山鹿市民医療センター 看護師 宮本智子 氏 エビデンスを理解した術前処置 ～手術室ローテーション研修を試みて～
		上天草市立上天草総合病院 医師 和田正文 氏 日本紅斑熱の重症化予測因子 ～死亡5症例の特徴から～
		小国公立病院 医師 松田圭史 氏 小国郷における在宅医療提供体制の構築
		山鹿市民医療センター 看護師 川口文香 氏 救急外来での発熱患者受け入れ体制の整備
		小国公立病院 医師 片岡恵一郎 氏 「コロナ禍を小国郷で乗り越える。」 オンライン住民フォーラムを開催して

特別講演

循環器治療の実態と対策

講 師：国立大学法人熊本大学
学長 小 川 久 雄 氏



司会者：第25回熊本県国保地域医療学会
学長 甲斐 豊

(阿蘇市病院事業管理者兼阿蘇医療センター院長)